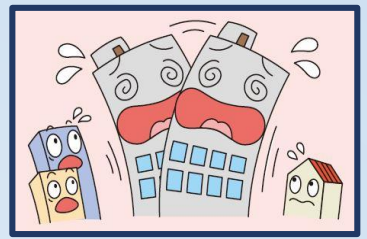


災害への備え、できていますか？



事前対策

① 室内の安全対策をしておきましょう

地震の発生に備え、家具に転倒防止器具をつけたり、配置を工夫したりしておきましょう。



② 最低3日、できれば7日分備蓄しておきましょう

食料品や生活用品を備蓄しておけば、災害時も住み慣れた自宅で生活を続けることができます。また、ライフラインの停止に備えて簡易トイレなども用意しておきましょう。



事後対策

① エレベーターに乗らないでください

エレベーターが動いていても、余震により再び停止してしまう可能性があります。安全が確認できるまで、階段を利用するようにしましょう。



● エレベーターに乗っているときに地震が起きたら・・・

すべての階のボタンを押し、止まった階で速やかに降りましょう。閉じ込められてしまったら「非常電話」ボタンを押し、救助を待ちましょう。

② 大地震発生時には、水を流さないでください

地震でマンション内の排水管が壊れているかもしれません。東日本大震災では、水を流してしまったため下階で深刻な汚水被害が発生したところが多くありました。排水管の点検が終わるまで、水を流さないようにしましょう。



③ 災害対応に協力してください

発災直後は、救助・救出や負傷者の搬送などの活動を速やかに行うことが重要です。また震災後に居住を継続する場合には、物資の調達や運搬、ごみ出しなど、居住者同士の助け合いが不可欠となります、できる限り協力をお願いします。



大田区が作成した
マンションの防災対策の
パンフレットです。

詳しくはこちら ▶



【問合せ先】

管理組合



-

-